

事業名 長寿お祝い事業

	村松会長	望月副会長	後藤委員	野々山委員	富田委員	鈴木委員
妥当性 市が税金を投入して実施することが妥当か	行政の関わる範囲を限定(対象を縮小)すべき	妥当である	妥当である	妥当である	行政の関わる範囲を限定(対象を縮小)すべき	妥当である
有効性 廃止・休止した場合に市民が影響を受けるか	一部の市民に影響がある	一部の市民に影響がある	特に影響はない	一部の市民に影響がある	一部の市民に影響がある	一部の市民に影響がある 老人にとっては楽しみの一つである。
効率性(1) サービスを低下させずに事業費を削減できないか	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい
効率性(2) 外部委託や類似事業との統合により事業費の削減はできないか	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい	現状のままでよい
公平性 受益者負担は適正か	住民負担を増やす(設定する)べきだ	受益者がいない	適正である	適正である	適正である	住民負担を増やす(設定する)べきだ 古稀の祝いを中心に実施しているなら、他の参加者からは、一部負担金をお願いしてもよい。
総合評価	改善	現状維持	改善	現状維持	改善	現状維持
評価の理由 意見・提言	対象者の増加が予測されているので、何らかの措置を検討すべきであろう。一部参加者の負担を求められることを前もって考える必要があるであろう。	長年にわたり市の発展に貢献した高齢者に感謝の意を表す事業として定着しており、参加者が多くかつ満足度の高い有意義な事業である。生活者にやさしい街づくりの一環として今後も継続することが望まれる。	毎年対象者がもめることがあるなら対象者を考慮すべきではないか。	多くの高齢者が参加している事業であり、今後も公演内容の充実を図り継続して実施されたい。	対象者を考えるべきではないか。	参加人員が限定されるので、ビデオ等の作成、配布の可能性等を検討したい。